

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成28年度事業 点検・評価調書

4-IV-3

4-IV-3

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	民泊や遊休施設活用の推進
	節 IV. ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	3 農家民泊データベース整備 ※修学旅行対応	事業主体	佐渡市観光振興課
		関連団体	佐渡地域振興局(企画振興部、農林水産振興部)
事業実施期間	H28~H34		
事業概要	【事業目的】	○ ピーク時の宿泊施設不足への対応として、主に修学旅行向けの農家民泊の推進を図る。	
	【事業内容】	○ 島内の受入可能な農家民泊のデータベースを作成し、情報の一元化を図る。	
事業実績	【事業成果】	● ホームステイを前提とした農家漁家民泊のプログラムを展開した。	
		● イベント民泊について市旅館組合との協議を開始し、市民説明会の後、民泊の公募を行った。	
今後の取組・課題	【課題】	■ 農業従事者の高齢化により、農業者世帯が減少傾向にあることから、ホームステイ受入可能先の開拓を進める必要がある。	
	【今後の取組】	■ 29年に修学旅行受入ピーク時を想定し、トライアルとしてロングライドに併せ民泊拡充に取り組む。	
事業評価	【事業の達成度】	◇ 農家民泊の情報一元化に向け、民泊の公募等、概ね計画通りに進んでいる。	
	【事業実施の効果】		
	【総合評価】		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。